

令和八年一月号

《第百五十七号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

睦月の祭典・行事案内



【月次祭】 九時半

七日(水)

三十一日(土)

【歳旦祭】 六時

一日(木)

【元始祭】 九時半

三日

【昭和天皇御製】〈第二四代〉

「光」

さしのぼる朝日の光へだてなく世を
照らさむそ我がねがひなる

「清宮貴子の結婚」

千代かけていもせのちぎり祝ふなり
春のやよいのこの朝ばらけ

「始めての皇孫」

山百合の花咲く庭にいとし子を車に
のせてその母はゆく

(昭和三十六年)

【例祭】

十二月十六日

今年の例祭(十四年祭)は、巳年のこともあり、凡そ六十名の参列を得て斎行されました。山口県神社庁岩国支部神職の方々の祭典奉仕により、厳かな内に無事に終了することができました。



祝詞奏上

を経て、「浦安の舞」が奉納され、白蛇保存会及び岩國白蛇神社崇敬会会長をはじめ、神社総代、吉川事務所、県神社庁岩国支部総代会、岩国商工会議所等の代表による玉串奉奠、続いて近県より参列された崇敬会員の方々を加へ三十名の玉串拝礼がありました。祭典後の官司挨拶では、今年巳年の参詣状況や前回の巳年との相違等についての話がありました。

【推薦図書】

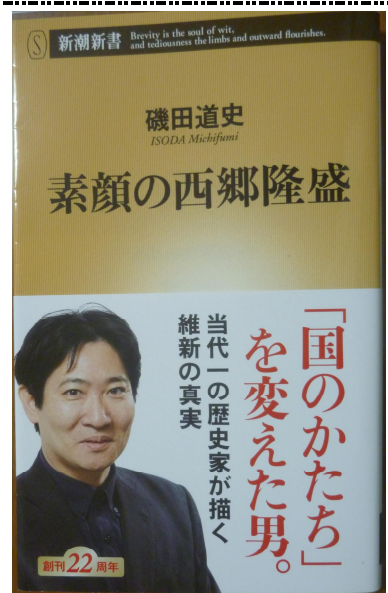
『素顔の西郷隆盛』

磯田道史著 新潮新書

八百二十円＋税

・・・よく知られているように、西郷は自伝や日記はもちろん、一枚の写真も残し

ていません。維新後のある時、西郷が雨降る御所の中を裸足で歩いていると、西郷が近衛都督だと知らない警衛が西郷の身柄を



確保してしまったことがあったそうです。そこへ岩倉の馬車を通りかかり、「これは陸軍大将の西郷だ」と言つて馬車に乗せ、日本橋蛸殻町まで送つてもらつたという話もあります。

勝海舟が指摘していることですが、西郷は、「人間、いかに大きな仕事をして、跡を残さないことこそ大事」という考え方をもっていたらしく、何も残さないという点で一貫しています。そこは大したものだと思います。

後になって思い残す人がいたら、自分の心事を正しくみてくれるのではないかと西郷という人はずっとそれを待ち続けるタイプであり、維新最大の功労者として死ぬよりも、野に屍を晒す。事実そういう死に方を選びました・・・(略)

(おわりにより)

『竹田恒泰の感動する日本』

竹田恒泰 著 宝島社新書

「・・・ここでは、竹田恒泰のネット配信から、特に、社会のため、人々のために奮闘し、身を捧げる人たちをリスパクトし、紹介しています。その最たる存在が天皇陛下です。陛下は、誰よりも国民のことを考え、誰よりも平和を望み、祈りを捧げています。そして、そのことを誰よりも理解し発信し続けているのが、竹田です。私たち日本人は、豊かな自然と、素晴らしい

千円

竹田恒泰の感動する日本

竹田恒泰



歴史を持っています。そして、美味しくても、豊かな食文化もあります。それらについても、本書では紹介しています。

本居宣長

『直毘霊』を読む(七)

其が中に、威力あり智り深くて、人をなづけ、人の國を奪ひ取りて、また、人に奪はるまじきことばかりをよくして、しばし國をよく治めて、後の法とも為したる人を唐土には聖人とぞ云ふなる。

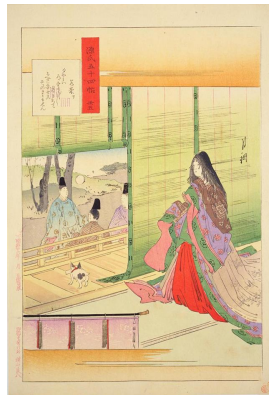
(続く)

【現代語訳】

その中で、威力があり、知恵が深くて人を手なづけ、他人の國を奪ひ取つて、又、他の者に奪はれないやうにすることばかりを徹底させて、しばらくの期間、國を見事に統治して、後世の規範とした人を、中国では聖人といふやうであるよ。

本居宣長と「源氏物語」(八)

宣長といへば「古事記伝」ですが、「源氏物語」の研究も見逃すことができないでせう。「紫文要領」が主な著書ですが、これまでの「源氏物語」研究にはない解釈をしています。それは、この物語には日本人本来の生き方が読み取れる人情が中心となつてゐること、儒教的な人間関係を拒否して、日本人が理想とする人間関係が綴られてゐることに注目してゐることです。



綴られてゐることに注目してゐることです。日本人古来の感性とも云へる「もののあはれ」をこの「源氏物語」から読み取るべしと宣長が伝へようとしてゐるのではないでせうか。

明けまして

おめでたうございます

今年もよろしくお願ひ致します

岩國白蛇神社職員一同

令和八年初詣

臨時駐車場の案内

○麻里布小学校の校庭(元日～4日)

神社から約七〇〇メートル(中央フード左折)

○臨時駐車場(毛利小児科の隣)

(元日～4日、十日～十二日)

○旧消防署跡地(ファミリーマート隣)

(元日～三月末)



尚、神社下の二カ所の駐車場は、関係者のみの使用となりますので、ご了解の程お願い致します。